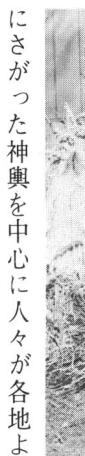


設けられ、御神輿はここから発進して神社にお上りになつた。

その後、大正の初頃より交通の事情や、小学校ができ、石段も急になつたので、境内にお假舍を建てて、ここから出発するようになつた。

姥神様は鹿島様に付いて来た神といわれている。祭神は蛭子神である。夷神であり、宇賀神である。「宇賀神」が後に「ウバ神」に転化したのではないか。



姥神様

中世になって、杵衝神社の祭礼のたびに市が立ち、假舍にさがつた神輿を中心に入々が各地より集り、祭礼のにぎわいを見せた市神様である。

たことが確認された。

長光寺薬師堂由来

《宮本》

(話者 室内信定)

平安時代の昔、宮本西部落に長光寺があつたといわれている。火災によつて焼けたといわれ、今でも